

特殊詐欺被害をなくそう

特殊詐欺とは？

特殊詐欺とは、①還付金詐欺②オレオレ詐欺③預貯金詐欺④架空請求詐欺⑤融資保証金詐欺⑥金融商品詐欺⑦ギャンブル詐欺⑧交際あっせん詐欺⑨その他の特殊詐欺⑩キャッシュカード詐欺盗の10種類を総称した詐欺のことをいいます。

令和4年12月末時点で、特殊詐欺被害全体の約9割が①還付金詐欺②オレオレ詐欺③預貯金詐欺⑩キャッシュカード詐欺盗で占めています。



市HP



東松山警察署生活安全課長に聞いた特殊詐欺

巧妙化する手口と最新の動向

特殊詐欺の③預貯金詐欺は、県や市区町村などの自治体や税務署の職員などを名乗り「医療費等の払い戻しがあるから」と、また、警察官等と名乗り「詐欺グループを捕まえたから、あなたの個人情報が漏れていたから」と、キャッシュカードの確認や取替の必要があるなどの口実で自宅を訪れ「手続きのため暗証番号を教えてください」と個人情報を要求し、キャッシュカードをだまし取る手口です。

また最近、非常に被害が急増しているのは、⑩キャッシュカード詐欺盗です。警察官等と偽って電話をかけ「キャッシュカードや銀行口座が不正に利用されている」「預金を保護する手続きをする」など、うその手続きを説明し、キャッシュカードを準備させた上で自宅を訪れ、被害者が目を離している隙にあらかじめ用意しておいた偽のカードと本物のカードをすり替え、口座から現金を引き出してしまいう手口です。

被害者の多くが「テレビ等で見聞きしていて、オレオレ詐欺やその他の特殊詐欺の知識はあった。被害に遭っているかもしれないと不安を感じていたが、電話に出てしまったからは電話を切らせてもらえず、誰にも相談する余裕がなかった。まさか自分が被害に遭うなんて」等と話しています。

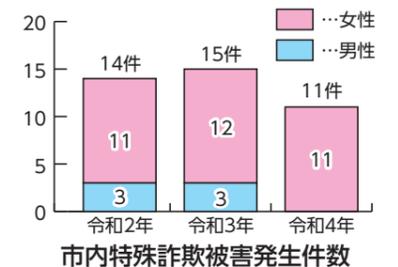


東松山警察署 生活安全課長 小松 かつひろさん

東松山市での被害

東松山市では、令和4年中に11件、合計約1,269万円の被害が発生しています。

昨年12月には、市内在住の女性の自宅に、財務局職員を名乗り「金融機関職員による詐欺グループを捕まえたところ、あなたも被害に遭っていることが分かった」「キャッシュカードの確認をさせてください」「偽造紙幣が混ざっているかもしれないので、自宅に保管している現金があれば確認させてください」「これからうちの職員が行くのでキャッシュカードと現金を渡してください」などと電話がかかってきて、この話を信じてしまった被害者が、自宅を訪れた犯人に現金をだまし取られ、キャッシュカードをすり替え盗み取られる被害が発生しました。



「私は大丈夫」が非常に危険～東松山警察署の新たな取り組み～

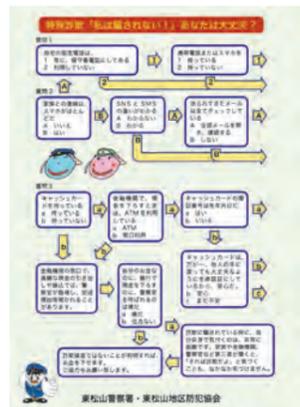
様々なキャンペーンや講習会の場で「私はだまされない」「俺は大丈夫だよ」、そう話す人がとても多くいるように感じます。本署は、そのような状況にとっても危機感を感じています。なぜなら、特殊詐欺の犯人は「知識はあるから、私はだまされない。だまされる人、まだいるのね」、そのように考えている皆さんを狙っているからです。

本署は、これまでの「警察から発信するだけの防犯活動」ではなく、住民の皆さんに「自分のことと捉え積極的に考えてもらい、もしかしたら私も、と気付いてもらう活動」を推進していきます。

そこで、本署生活安全課は、特殊詐欺被害を未然に防ごうと、クイズ形式のチャートを読み進めることで、特殊詐欺の様々な手口やその対策を知ることができる啓発チラシを作り、防犯教室での使用、街頭キャンペーンでの配布を始めています。



防犯教室の様子



啓発チラシ(表)



啓発チラシ(裏)



チラシHP

チラシを見る場合は、HPをご確認ください。

最強の防犯対策「在宅時から留守番電話に設定し、犯人からの電話に出ない」



被害の特徴として、約9割の被害者が犯人からの電話に出たことが、きっかけです。

本署では、住民の皆さんに対し「在宅中も留守番電話に設定」「電話に出ないで犯人と話さない」をお願いしています。「電話が鳴っているのに出ちゃいけないの」と思いますよね。大切なのは、犯人からの電話に出ないことです。留守番電話の機能や防犯機能付電話の活用は、非常に効果的です。留守番電話に設定していれば、犯人は声を録音されることを嫌がり、電話を切ります。録音メッセージを聞いて相手を確認してから電話に出る又はかけ直しましょう。特殊詐欺の被害から大切な家族や自分自身を守りましょう。

特殊詐欺被害総額(県内)が約27億円に及ぶ現在において「留守番電話に設定し、電話に出ないこと」は決して非常識なことではありません。大切な家族や自分自身の大事な財産を守るための新しい「常識」なのです。



防犯機能付電話機

埼玉県警察メールマガジン「犯罪情報官 NEWS」をご存じですか？

埼玉県警察では、地域の皆さまの防犯対策に役立てていただくことを目的としてメールマガジン「犯罪情報官 NEWS」を配信しています。メールマガジンに登録すると、特殊詐欺に関する情報のほか、不審者情報、一般的な防犯情報などを受け取ることができます。詳細は県警HP、登録方法は登録方法HPでご確認ください。

また、メールマガジンのほか、Twitter・Yahoo!防災速報等でも情報をタイムリーにお届けしています。5つの犯罪・防犯情報ツールHPから各ツールの登録・フォローができます。



埼玉県警察シンボルマスコット
ポッポくん ポポ美ちゃん



県警HP



登録方法HP



5つの犯罪・防犯情報ツールHP

特殊詐欺について学ぶことができます

市で行っている「きらめき出前講座」の「交通安全・防犯教室」で特殊詐欺について学ぶことができます。

東松山警察署職員による特殊詐欺被害発生状況や最新の手法に関する講話、希望があれば、寸劇みもり座の皆さんによる特殊詐欺被害の事例を寸劇で上演することもできます。

申込方法等の詳細は、市HPでご確認ください。



市HP



講話の様子



寸劇の様子

東松山いんぷおメール・市公式LINEにご登録ください

東松山いんぷおメールでは、市内の特殊詐欺発生情報を含む防犯情報について配信しています。

登録方法等の詳細は、東松山いんぷおメールHPでご確認ください。

市公式LINEでは、6月以降、登録者が防犯情報を含む興味関心のある情報を指定して受信できるセグメント配信を導入する予定です。事前にぜひご登録ください。



東松山いんぷおメールHP



市公式LINE

東松山いんぷおメール・市公式LINE問合せ 広報広聴課 ☎21-1410 ☎22-5516

高額現金の自宅保管は非常に危険です ⚠

最近、金融機関からのホットライン通報の多くが「自宅に高額現金を持ち帰りたい」という高額預貯金の払戻しに係る通報です。そのほとんどが「預けていても利息がつかないかもしれない」「引き出しに行くのが面倒」などの理由から、高額現金を自宅に保管しようとしています。高額現金の自宅保管は非常に危険です。

コロナ禍以降、外出を避けて自宅で現金を保管している人もおり、それを狙う犯罪グループが増えています。犯罪グループは在宅の有無や自宅に現金がいくら保管しているのか細かく確認する「アポ電」をしてから、強盗等の犯行に及ぶ傾向があります。

在宅時から留守番電話に設定し「犯人からの電話に出ない」対策をお願いします。

特集に関する問合せ 地域支援課 ☎21-1435 ☎22-7799、東松山警察署 ☎25-0110

特殊詐欺被害防止マイスター(※)に聞いた特殊詐欺対策

※特殊詐欺の被害防止の啓発活動を行う職



埼玉県 県民生活部 防犯・交通安全課
特殊詐欺被害防止マイスター
柿沼武雄さん

質問：還付金詐欺、オレオレ詐欺など、さまざまな手口の特殊詐欺がありますが、被害を防ぐにはどうすればいいですか。

柿沼さん：特殊詐欺の約9割が家の固定電話にかかってきた電話が事件の始まりです。ですから、家の固定電話になんらかの防犯対策を施せば、被害が減ると思います。そこで犯人からの電話には出ない。犯人とは会話をしないということが基本だと思います。そこで電話に出ない作戦ということで、留守番電話。あとは特殊詐欺の被害防止や抑止を目的に作られた対策機器を活用することが有効だと思います。

質問：自動通話録音装置や防犯機能付電話機などの特殊詐欺対策機器は、どのような物ですか。

柿沼さん：対策機器は、いくつかのメーカーから発売されており、犯人が嫌がる機能が付いています。犯人は声証拠として残る録音を嫌います。そこで、電話をかけた場合、着信前に犯人側に「この電話は、特殊詐欺被害防止のために、録音します」みたいな警告を流します。そうすると犯人はほとんど電話を切ると言われています。そこで抑止効果を期待しています。また、通話が始まれば、自動的に録音します。それが主な機能です。

特殊詐欺被害の水際阻止をした人に聞く特殊詐欺の実情



東松山郵便局 窓口営業部
山荷恒幸さん(左)、馬場久瑠美さん(右)

質問：昨年、特殊詐欺被害を未然に防いだと聞きました。その時のことをお聞かせください。

山荷さん：「郵便局に行けば保険の還付金が受け取れると、市役所の保険年金課の〇〇さんから電話があって来ました」と高齢のお客様が来局されました。その話を聞いたときに還付金詐欺が頭に浮かびました。一応「市役所の保険年金課に〇〇さんいますか」と問い合わせさせていただいたら、その名前の職員はいませんとのことでした。その後、また電話がかかってきたら危ないので、警察官をお呼びして対応していただきました。

馬場さん：私の時は「息子から電話があって100万円が必要になったから、お金を引き出しに来た」という高齢のお客様が来局されました。その後もお話を聞きましたが、話が二転三転するので、ちょっとおかしいなと思い、ホットライン通報(※)させていただきました。

質問：ホットライン通報して、それが犯罪であったケースは以前より、増えているのでしょうか。

山荷さん：体感的には増えていると思います。

質問：今後の抱負をお聞かせください。

山荷さん・馬場さん：今後も特殊詐欺被害を防ぎ、お客様が安心して、利用していただける金融機関でいられるように頑張っていきたいと思っています。

※警察からの協力要請で、金融機関が利用客に対し実施している声掛けや高額預貯金の払戻しに係る警察への通報。